

目 次

I 総 説

- 第 1 令状事務処理の全般的注意事項
- 第 2 令状請求受理までの事前準備
- 第 3 令状請求の受理
- 第 4 令状請求書の点検
- 第 5 被疑者の特定
- 第 6 令状の有効期間
- 第 7 令状の草稿の準備及び点検
- 第 8 裁判官への提出
- 第 9 発付時の手続
- 第 10 令状請求却下の場合、令状請求撤回の場合
- 第 11 有効期間切れ令状の返還、令状更新
- 第 12 引致場所の変更請求

II 一般的な令状

- 第 1 通常逮捕状
 - 逮捕状（通常逮捕）請求書と令状（写真を利用した場合）
- 第 2 緊急逮捕状
 - 逮捕状（緊急逮捕）請求書と令状
 - 引致前に緊急逮捕状の請求があった場合
- 第 3 捜索差押許可状などについて
 - 捜索差押許可状請求書と令状
 - 差押許可状請求書と令状
 - 検証許可状請求書と令状
- 第 4 身体検査令状
 - 身体検査令状請求書と令状
- 第 5 鑑定処分許可状
 - 鑑定処分許可状請求書と令状

III 特殊な事例に関する令状

- 第 1 強制採尿
- 第 2 強制採血と毛髪の強制採取
 - 【参考】 1 血中アルコール濃度測定のため
 - 【参考】 2 血液型・DNA型検査のため
 - 【参考】 3 毛髪の強制採取
- 第 3 脱税事件の臨検捜索差押許可状の請求
- 第 4 強制退去のための臨検・捜索・押収許可状の請求（行政雑事件）
- 第 5 引致状
- 第 6 記録命令付差押許可状
- 第 7 リモートアクセスによる複写の処分の令状

IV 請求書に基づく記録の点検

- 第 1 覚せい剤取締法違反（使用）の逮捕状請求
- 第 2 あへん法違反（使用）の逮捕状請求
- 第 3 窃盗の（空き巣）の逮捕状請求
- 第 4 詐欺（取り込み詐欺）の逮捕状請求
- 第 5 傷害（けんか）の逮捕状請求
- 第 6 覚せい剤取締法違反（所持）における捜索差押許可状請求
- 第 7 詐欺（振り込め詐欺）における通話明細の差押許可状請求
- 第 8 ひき逃げ死亡事件における司法解剖のための鑑定処分許可状請求
- 第 9 変死体を司法解剖するための鑑定処分許可状請求

第6 記録命令付差押許可状

平成24年6月22日施行された新しい令状である。通常の差押許可状がこれに変わるという趣旨ではなく、新しい種類の令状である。

1 記録命令付差押許可状の請求（請求書記載例参照）

- (1) 記録命令付差押えとは、電磁的記録の保管者等をして、必要な電磁的記録を記録媒体に記録又は印刷させた上で、その記録媒体を差し押さえるという強制処分*1。
- (2) 請求権者は、検察官、検察事務官又は司法警察員（法218Ⅳ）、特別司法警察職員（法190）である。

※司法警察員＝公安委員会の指定を受けた警部以上の者に限られない。司法巡査は含まれない。

2 記録命令付差押えの要件

通常の差押えと同様に、犯罪の嫌疑や関連性が要求されるほか、犯罪捜査のために必要があることが要件とされる（法218Ⅰ）。

3 令状の準備、作成（令状記載例参照）

記録命令付差押許可状請求書の記載を点検した上で、「記録命令付差押許可状」の定型用紙に、被疑者の氏名、罪名（被疑事件名）、記録させ又は印刷させるべき電磁的記録、電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者、有効期間、発付年月日、発付裁判所、裁判官名、請求者の官公職氏名を記載する。

(1) 記録させ又は印刷させるべき電磁的記録

- ア 令状請求書に記載された「記録させ又は印刷させるべき電磁的記録」が捜査に「必要な電磁的記録」であるかを審査する。
- イ 記載例は、執務資料*2に「電子メールの通信履歴等の場合」、「Web サイトの更新履歴の場合」、「電話の通信履歴の場合、その他」が掲載されている。

(2) 電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者

- ア 令状請求書に記載された「電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者」が「電磁的記録を保管する者その他電磁的記録を利用する権限を有する者」（法218Ⅰ、99の2）であるかを審査する。
- イ 通常は、その令状を請求するに当たり、事前に捜査機関が先方と打合せをし、その中で調整させられると思われる。

(3) その他

記録命令付差押許可状請求書は、簡裁は（る）、地裁は（む）の符号で令状請求事件簿で立件する。なお、令状請求事件簿に記載する「令状種別」については、「記差」と記載する。

*1 電磁的記録の保管者等が記録命令に従わない場合の罰則は規定されておらず、実際に従わなければ証拠収集の目的を達することはできないことから、協力的な者に対して行うことを想定している。

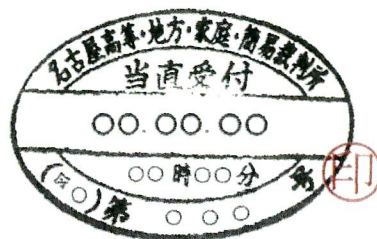
*2 平成24年4月「新たな令状事務の取扱いに関する執務資料（電磁的記録の証拠収集方法の整備に伴うもの）」最高裁判所事務総局刑事局

当直用チェック票（記録命令付差押許可状請求書）

- 1 受付日付は正しいか。
- 2 庁別は選択したか。

原本、謄本に

- ・ 3 時刻は記入したか。
- ・ 4 事件番号、事件符号は記入したか。
- ・ 5 担当者は押印したか。
- ・ 6 原本、謄本は照合したか。



受 作
付 成
時 時
1 ☐ ☐
2 ☐ ☐
3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

記録命令付差押許可状請求書

7 請求日付は正しいか。
平成〇〇年〇〇月〇〇日

8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。
名古屋〇〇 裁判所
裁判官 殿

愛知県〇〇警察署
司法警察員 〇〇 〇 〇 〇 〇



下記被疑者に対する〇〇〇〇被疑事件につき、記録命令付差押許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか（特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要）。
記

1 被疑者の氏名

〇 〇 〇 〇

昭和〇〇年〇〇月〇〇日生（〇〇歳）

10 身柄関係書類等があれば確認する。

11 年齢計算に誤りはないか。

（氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例）

2 記録させ又は印刷させるべき電磁的記録

12 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

3 電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者

13 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

（記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。）

5 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

15 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

（記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。）

6 犯罪事実の要旨

16 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

（引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。）

7 ☐ ☐
8 ☐ ☐
9 ☐ ☐
10 ☐ ☐
11 ☐ ☐
12 ☐ ☐
13 ☐ ☐
14 ☐ ☐
15 ☐ ☐
16 ☐ ☐

15 ☐

この令状は夜間でも執行することができる。

12 ☐ ☐13 14 ☐14 ☐

第7 リモートアクセスによる複写の処分の令状

平成24年6月22日施行された新しい令状である。差押許可状，搜索差押許可状の新様式である。

1 リモートアクセスによる複写の処分が含まれる令状許可状の請求（請求書記載例参照）

- (1) リモートアクセスによる複写の処分とは，電子計算機に対する差押えを行う場合に，その電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体に保管されている電磁的記録を当該電子計算機又は他の記録媒体に複写して差し押さえることである*1。
- (2) 請求権者は，検察官，検察事務官又は司法警察員（法218Ⅳ），特別司法警察職員（法190）である。

※司法警察員＝公安委員会の指定を受けた警部以上の者に限られない。司法巡査は含まれない。

2 リモートアクセスによる複写の処分の要件

- (1) まず，電子計算機自体の差押えを許可できること。通常の差押えと同様に，犯罪の嫌疑や関連性が要求されるほか，犯罪捜査のために必要があることが要件とされる（法218Ⅰ）。
- (2) 次に，当該記録媒体が差押対象物である電子計算機と電気通信回線で接続している蓋然性があること，収集目的である電磁的記録が当該記録媒体に保管されている蓋然性があること，当該記録媒体が差押対象物である電子計算機で作成若しくは変更をした電磁的記録又は当該電子計算機で変更若しくは消去をすることができることとされている電磁的記録を保管するために使用されている蓋然性があることが要求される。

3 令状の準備，作成（令状記載例参照）

搜索差押許可状又は差押許可状請求書の記載を点検した上で，「差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって，その電磁的記録を複写すべきものの範囲」の欄がある定型用紙に，被疑者の氏名，罪名（被疑事件名），差し押さえるべき物，（搜索すべき場所，身体又は物），差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって，その電磁的記録を複写すべきものの範囲，有効期間，発付年月日，発付裁判所，裁判官名，請求者の官公職氏名を記載する。

(1) 差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって，その電磁的記録を複写すべきものの範囲

ア 令状請求書に記載された「複写すべきものの範囲」が複写処分の対象として特定されているかを審査する。

イ 記載例は，執務資料*2に「電子メール（Web メールによるもの）の場合」，「リモートストレージサービスの場合」，「LAN接続の場合」が登載されている。

*1 その電子計算機で，作成・変更をした電磁的記録又は変更・消去できる権限が認められている電磁的記録を保管するために使用されているものに限る。

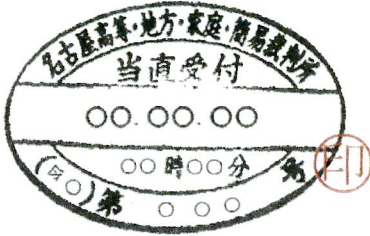
*2 平成24年4月「新たな令状事務の取扱いに関する執務資料（電磁的記録の証拠収集方法の整備に伴うもの）」最高裁判所事務総局刑事局

当直用チェック票（捜索差押許可状請求書）
（リモートアクセスによる複写の処分）

- 1 受付日付は正しいか。
2 庁別は選択したか。

原本、謄本に

- ・ 3 時刻は記入したか。
・ 4 事件番号、事件符号は記入したか。
・ 5 担当者は押印したか。
・ 6 原本、謄本は照合したか。



受付時
1 ☐ ☐
2 ☐ ☐

作成時
3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

捜 索
差 押
許 可 状 請 求 書

7 請求日付は正しいか。
平成〇〇年〇〇月〇〇日

7 ☐ ☐
8 ☐ ☐

8 ゴム印の押し忘れ。「地方」「簡易」の押し間違いはないか。
名古屋〇〇 裁判所
裁判官 殿

愛知県〇〇警察署
司法警察員 〇〇 〇 〇 〇 〇



下記被疑者に対する〇〇〇〇被疑事件につき、捜索差押許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか（特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要）。
記

9 ☐ ☐

1 被疑者の氏名

〇 〇 〇 〇

昭和〇〇年〇〇月〇〇日生（〇〇歳）

10 身柄関係書類等があれば確認する。

11 年齢計算に誤りはないか。

10 ☐ ☐
11 ☐ ☐

（氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例）

2 差し押さえるべき物

12 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

12 ☐ ☐

3 捜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

13 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

13 ☐ ☐

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

（記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。）

14 ☐ ☐

5 刑事訴訟法218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

15 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

15 ☐ ☐

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

16 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

（記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。）

16 ☐ ☐

7 犯罪事実の要旨

17 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

（引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。）

17 ☐ ☐

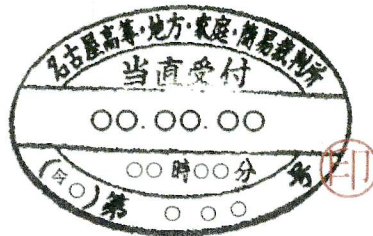
当直用チェック票（差押許可状請求書）

（リモートアクセスによる複写の処分）

- 1 受付日付は正しいか。
- 2 庁別は選択したか。

原本、謄本に

- ・ 3 時刻は記入したか。
- ・ 4 事件番号、事件符号は記入したか。
- ・ 5 担当者は押印したか。
- ・ 6 原本、謄本は照合したか。



受付時間
作成時間
1 ☐ ☐
2 ☐ ☐
3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

捜索 許可状請求書 差押

7 請求日付は正しいか。
平成00年00月00日

8 ゴム印の押し忘れ。「地方」「簡易」の押し間違いはないか。
名古屋000 裁判所
裁判官 殿

愛知県00警察署
司法警察員 00 0 0 0 0



下記被疑者に対する0000被疑事件につき、差押許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか（特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要）。
記

1 被疑者の氏名

0 0 0 0

昭和00年00月00日生（00歳）

10 身柄関係書類等があれば確認する。

11 年齢計算に誤りはないか。

（氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例）

2 差し押さえるべき物

12 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

3 捜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

13 記載する事項がないので斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

（記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。）

5 刑事訴訟法218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

15 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

16 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

（記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。）

7 犯罪事実の要旨

17 記載は必須（引用された別紙はあるか。）

（引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。）

7 ☐ ☐

8 ☐ ☐

9 ☐ ☐

10 ☐ ☐

11 ☐ ☐

12 ☐ ☐

13 ☐ ☐

14 ☐ ☐

15 ☐ ☐

16 ☐ ☐

17 ☐ ☐

(リモートアクセスによる複写の処分)

交付時
作成時

15 □

捜 索 差 押 許 可 状	
被 疑 者 の 氏 名	<div>1 表記文字は正しいか。</div> <div>○ ○ ○ ○</div>
<div>被疑者に対する</div> <div>○ ○ ○ ○</div> <div>2 罪名は正しいか（特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要）。</div> <div>被疑事件</div> <div>について、下記のとおり捜索及び差押えをすることを許可する。</div>	
差し押さえるべき物	<div>3 記載は必須（引用された別紙はあるか。）。</div> <div>（引用した別紙の付け忘れ 取り違えに注意）</div>
捜 索 す べ き 場 所 ， 身 体 又 は 物	<div>4 記載は必須（引用された別紙はあるか。）。</div> <div>（引用した別紙の付け忘れ 取り違えに注意）</div>
差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であつて、その電磁的記録を複写すべきものの範囲	<div>5 記載は必須（引用された別紙はあるか。）。</div> <div>（引用した別紙の付け忘れ 取り違えに注意）</div> <div>また、捜索及び電子計算機の差押えのみを許可した場合、斜線が引かれているか。</div>
有 効 期 間	平成○○年○○月○○日 まで 6 期間計算は正しいか。
<div>有効期間経過後は、この令状により捜索又は差押えに着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。</div> <div>有効期間内であっても、捜索又は差押えの必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。</div>	
<div>7 今日の日付は正しいか。</div> <div>平成○○年○○月○○日</div> <div>8 庁名印は正しいか。</div> <div>（庁名） 名古屋○○裁判所</div> <div>裁 判 官</div>	<div>9 庁印は正しいか。</div> <div>○ ○ ○ ○</div> <div>10 裁判官の記名印は正しいか。</div> <div>11 裁判官の押印はあるか。</div> <div>○ ○ ○ ○</div>
請 求 者 の 官 公 職 氏 名	<div>愛知県○○警察署</div> <div>司法警察員 ○○</div> <div>12 請求書からの転記は正しいか。</div> <div>○ ○ ○ ○</div>

この令状は夜間でも執行することができる。

13 夜間執行の請求はあるか。

14 裁判官の押印はあるか。

13 ☐ ☐14 ☐

当直用チェック票（差押許可状）

（リモートアクセスによる複写の処分）

作成時

14 引用された別紙各葉との裁判官契印はあるか。

14 ☐

差 押 許 可 状	
被 疑 者 の 氏 名	<p>1 表記文字は正しいか。</p> <p>○ ○ ○ ○</p>
被疑者に対する	<p>○○○○</p> <p>2 罪名は正しいか（特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要）。</p> <p>被疑事件</p> <p>について、下記のとおり差押えをすることを許可する。</p>
差し押えるべき物	<p>3 記載は必須（引用された別紙はあるか。）。</p> <p>（引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意）</p>
差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲	<p>4 記載は必須（引用された別紙はあるか。）。</p> <p>（引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意）</p> <p>また、電子計算機の差押えのみを許可した場合、斜線が引かれているか。</p>
有 効 期 間	<p>平成○○年○○月○○日 まで 5 期間計算は正しいか。</p>
<p>有効期間経過後は、この令状により差押えに着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。</p> <p>有効期間内であっても、差押えの必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。</p>	
<p>6 今日の日付は正しいか。</p> <p>平成○○年○○月○○日</p> <p>7 庁名印は正しいか。</p> <p>（庁名） 名古屋○○裁判所</p> <p>8 裁判官の記名印は正しいか。</p> <p>裁判官 ○ ○ ○ ○</p> <p>10 庁印は正しいか。</p> <p>印</p>	
請求者の官公職氏名	<p>愛知県○○警察署</p> <p>司法警察員 ○ ○ ○ ○</p> <p>9 請求書からの転記は正しいか。</p> <p>印</p>

1 ☐

2 ☐

3 ☐

4 ☐

5 ☐

6 ☐

10 ☐

7 ☐

8 ☐

11 ☐

9 ☐

この令状は夜間でも執行することができる。

12 夜間執行の請求はあるか。

12 ☐

13 裁判官の押印はあるか。

13 ☐